



# 週報宇佐



孔雀文馨



陵王面

- 例会日 木曜日 PM12:30
- 例会場 宇佐市沖須町 1-19  
トキハインダストリー長洲店 2F  
TEL (0978) 38-1112

会長 石部 幸二  
幹事 臼 杵 確  
編集 川 端 克 弥

## 3月は識字率向上月間

### \*本日のプログラム\* (3月7日)

1. 会長の時間
2. 幹事報告
3. 委員会報告
4. スマイルカード
5. 内部卓話 川端克弥会員  
「ダイビングについて」
6. 出席報告

### \*3月の行事予定\*

- 7日 内部卓話 川端克弥会員  
「ダイビングについて」
- 14日 内部卓話 地区大会報告
- 21日 内部卓話 藤本博和会長エレクト「PETS報告」
- 28日 外部卓話 長洲中学校 土岐達也校長

## 第2243回例会 平成25年 2月28日 の記録

### 開会点鐘

- 🎵 ソング それでこそロータリー
- 🎵 ゲスト なし
- 🎵 ビジター なし

### ● 会長の時間

石部幸二会長

皆さんこんにちは。

2月16、17日の2日間大分でクラブ研修リーダー育成セミナーに幡手研修リーダー、末宗直前会長、臼杵幹事と4名で行って来ました。その報告はまた幡手研修リーダーに卓話の時間に報告してもらおうようお願いしています。

私がびっくりしたのは、ガバナーが二日目にセミナーに遅刻してきたことです。講演をしていた

RI研修リーダーの三木さんが「岡村ガバナー顔がまだ酔ってますね。」とやんわりとたしなめたという感じでしょうか。

また、懇親会の場でガバナーが自分のクラブの1年目の会員に歌を歌わせたこと。それも命令口調で、何か勘違いしているのではないのでしょうか？宴会ではないよねーと他の出席者も不快な面持ちでした。また酔っぱらった女性会員が舞台に

## USA-OITA

## 第2720地区 宇佐ロータリークラブ

事務局 〒872-0032 大分県宇佐市江須賀2999-2 (株)ユニックス内  
TEL. FAX : 0978-38-2370 <http://www.usa-rotary.com/>

上がってみともない行動をして蟹轡を買って  
ました。

ロータリーの品格はどこに行ってしまったので  
しょうか？

また、逆に感じさせられたことは、二日目の最  
後に仙波研修副委員長が講評でお話したことす。

**ロータリーの会員減少はロータリー自ら招いた  
ものではないか？**

それは品格の低下。ロータリーを辞典で調べると、

昭和初期の事典：超一流の人物

戦後高度成長期：名士

最近：社交団体

と、世間の見る目がこんなに変わっている。

例えば外部卓話。せっかく卓話に来ていただい  
ても出席率が悪ければ、少ないし、30分たったら  
途中で徐々に少なくなる。来た人もなんじゃこれ  
は、もう二度と来たくないと思うのは当然でしょ  
う。また新入会員歓迎会無断で欠席、新入会員に  
してみれば欠席の人は私を歓迎していないのでは  
といろいろ考えますよ。本人に一言申し訳ない  
が出席できない旨を直接伝える、それが思いやり  
の心ではないでしょうか？

この話は、私自身もいろいろと考えさせられま  
した。

## ● 幹事報告

臼杵 確幹事

### 1. 来信

- 1) ロータリーの友 3月号；配布
- 2) ガバナーより「クラブ研修リーダー育成セ  
ミナーの修了証」；受講者4名へ
- 3) 地区大会実行委員より「地区会員交流懇親会  
における各クラブ紹介スピーチの依頼」
- 4) 地区補助金委員会より「次年度地区補助金 受  
給計画書提出について」

### 2. 例会変更

別府RC：①3/1(金)は18:30～「湯元旅館 かな  
わ荘」に変更 ②3/22(金)は18:30～「ホテル  
ニューツルタ」に変更 ③3/29(金)は休会

### 3. 週報受理

別府RC、別府東RC、別府中央RC

### 4. 理事会報告

なし

### 5. お知らせ

- 1) 本日例会終了後、定例理事会を開催致します。  
役員・理事の方はお残り下さい。
- 2) 2月25日の口座振替の領収証を配布していま  
す。

### 6. 欠席連絡

住本憲彦会員、本庄伸子会員、宮本順二会員  
和田久継会員

### 7. 本日の当番

小野田義文会員、辛島光司会員

## ● スマイルカード

西中孝生委員長

石部幸二会長：クラブ研修リーダー育成セミナー  
では幡手研修リーダー、末宗直前会長、臼杵幹  
事に大変お世話になりました。幡手研修リーダ  
ー卓話よろしくお願ひします。

臼杵 確幹事：春が近づいてきました。先日の母  
の葬儀ではご会葬いただきありがとうございます  
ました。

末宗為十会員：クラブ研修リーダー育成セミナー  
では石部会長、臼杵幹事、幡手会員には大変お  
世話になりました。

藤本博和会員：幡手さん卓話ががんばって。

是永潤一会員：幡手会員セミナー報告よろしくお  
願ひします。

津々良洋一会員：幡手会員の報告最後まで聞けま  
せん。早退します。

宮丸龍昭会員：幡手会員卓話お願ひします。本日  
は職業奉仕の為早退させていただきます。すみませ  
ん。

米澤哲也会員：職業奉仕の為早退いたします。



## ● 内部卓話

### 「クラブ研修リーダー育成セミナーの報告」

クラブ研修リーダー 幡手一義会員

2月16日(土)・2月17日(日)に大分労働福祉会館「ソレイユ」で開催された、地区のクラブ研修リーダー育成セミナーに、石部会長、末宗直前会長、臼杵幹事と私の4名で参加してきました。



本日は、1日目にあった本田直前ガバナーの講演の内容をご紹介します。

### 心機一転・「入りて学び、出でて奉仕せよ」

を合言葉に

RI第2720地区直前ガバナー 本田光曠

ロータリーは2月23日で創立108年となります。この間、ロータリーも紆余曲折を繰り返しながら、その時代に適合したロータリー特有の活動をして発展して参りました。しかし日本では会員の減少が著しく、13万人から現在9万人を割ってしまいました。当地区でもピーク時から1千名の会員減少です。この数字だけでも、日本のRCが如何に会員増強に悩まされているかを知ることができます。

「何故、会員が増えないで減るのでしょうか。」

RI第2680地区の「ロータリーの意味論」に書かれた、ロータリーの会員減少の要因、会員増強の要素について検討してみたいと思います。

会員数の減少の要因は、1. 社会的要因（経済事情・人口動態）、2. 人的要因（個人の価値観の変化・拝金主義・悪しき個人主義）、3. 国際ロータリー自体の要因（ロータリー哲学の喪失・財団中心主義）、4. クラブの要因（会員選考の形骸化・学ぶ意欲の喪失・相互扶助、感性的親睦のみの重視）です。活動の形式化、マンネリ化、安易な入会は学ぶ意欲の無い会員数の増加に繋がります。感性的な親睦すら怪しいのです。

そこで、私たちが特に意識をしなければならないのが、④クラブの要因です。クレム・レヌフ元RI会長（1978-79年度）は「私たちは、優秀で積極

的に参加してくれそうな新会員を入会させれば、それが会員増強だと思っていますが、その人達にやる気を起こさせ、やりがいのあるプログラムに参加する機会を与えなければ、いずれ知らない間にいなくなってしまうでしょう。」とっておられます。

そして、「会員増強は会員の勧誘と維持を目的とするものでなく、ロータリーとはどんな団体なのかを理解することから始めなければなりません。会員増強は私たちの背中でするものです」と。また、ウィリアム・スケルトン元RI会長（1983-84年度）は「ロータリアンとして、最大の罪は同じロータリアンがやっていることに全く無関心であること」。なんと、20数年以上も前から言われているロータリー語録です。

そのためか、国際ロータリーは2002-03年度から長期計画委員会を発足させ、2007-09年度計画の修正が加えられ、2010年7月1日からは新計画（現RI新長期戦略計画）は3つの大きな重点項目（人道的奉仕の重点化と増加・公共イメージと認知度の向上・クラブのサポートと強化）になっています。

そこで、今日は、RIの重点項目とされる3つの内の「クラブのサポートと強化」が私たちにとって今一番、重要な目標ですので、ロータリーにおけるリーダーシップについてのプログラムを進めて参りたいと思います。私も、各クラブから選ばれたリーダーの皆さんと一緒に、ロータリーを学ぶ時を得たことに大いなる喜びを感じています。当地区にとって2回目の「クラブ研修リーダー育成セミナー」です。

「入りて学び、出でて奉仕せよ」、これが私たちロータリアンの合言葉です。これからのロータリークラブを背負って立つ心（自立自尊）をもって、国際ロータリー研修リーダーの三木講師のもとで学び合ひましょう。皆さん、本日はご参加有難うございます。



\*受講した4名に修了書授与\*

## 一、【人が集まる九ヶ条】

- ①人は人が集まる処へ集まる
- ②人は快適な処へ集まる
- ③人は噂になっている処へ集まる
- ④人は夢の見られる処へ集まる
- ⑤人は良いもののある処へ集まる
- ⑥人は満足の得られる処へ集まる
- ⑦人は自分の為になる処へ集まる
- ⑧人は感動を求めて集まる
- ⑨人は心を求めて集まる

## 二、【本質を見抜く目を養う】

「観(かん)の目は強く、見(けん)の目は弱く」と言ったのは宮本武蔵です。「現象に惑わされることなく、全体を観る目を養え」ということです。彼はこの訓練によって六十数回の戦いに勝利しました。物事の本質を見抜かずして、あらゆる事業は成り立ちません。あらゆる道は全うできません。多くの先達が本質を見抜くことの大事さを説くのは、その為です。ですから、私たちは本質を見抜く目を養わなければなりません。

- 一、目先に捉われず、長い目で見る。
- 二、物事の一面だけを見ないで、できるだけ多面的全体的に見る。
- 三、枝葉末節にこだわることなく、根本を見る。

我われは難しい問題にぶつかる度にこの心得を忘れてはなりません。拳々<sup>けんけん</sup>服膺<sup>ふくよう</sup>したいものです。

## 三、【成功さえも試練である】

試練とは、一般的にいわれる苦難のことだけを指すではありません。人間にとって、成功さえ試練なのです。仕事で大成功を収め、地位や名声、財産を獲得した時、人はそれを見て、「なんと素晴らしい人生だろう」とうらやむことでしょう。ところが実は、それさえも天が与えた厳しい「試練」なのです。成功した結果、地位に驕り、名声に酔い、財に溺れ、努力を怠るようになっていくのか、それとも成功を糧に、さらに気高い目標を掲げ、謙虚に努力を重ねていくのかによって、その後の人生は、天と地ほどに変わってしまうのです。天は成功という「試練」を人に与えることによって、その人を試しているのです。

## 四、【人生とは言葉である】

日頃どういう言葉を口にしているのか。言葉で人生をとらえ、世界をどう観ているのか。その言葉の量と質が人物を決定し、それにふさわしい運命を招来するのです。運命を拓く言葉の重さを私たちは知らなければなりません。「美しき言葉が美しき人をつくる」と、万葉の世より言われてきた日本語の美しさ。柿本人麻呂は「しきしまのやまとの国は言霊のさきわふ国ぞま福(さき)くありこを」と詠っています。

## 五、【神は努力する者に必ず報いる】

「価値を見出す力。その価値を信じる力。これこそ信念の力です。信じ念じる力が道の無いところに道をつくり、人を偉大な高みに押し上げていくのです。「一流といわれるプロに共通した条件をあげると、それは『神は努力する者に必ず報いると心から信じている』ということである。不平や不満はそれにふさわしい現実しか呼び寄せないことを知り、感謝と報恩の心で生きようとします、それが一流プロに共通した条件なのです。」

### ● 出席報告

佐々木正博委員長

第2243回 (2月28日)

会 員 総 数	33名
(内出席免除)	0名
出 席 数	27名
(内事前MU)	0名
欠 席 数	6名
出 席 率	<b>81.82%</b>

### 回欠席者

新開洋一会員、砂山正則会員、住本憲彦会員  
本庄伸子会員、宮本順二会員、和田久継会員

### ※出席率の更正

◎2月21日の出席率は2名のメイクアップにより66.67%→**72.73%**に更正

### 回事後メイクアップ

河村正一会員 (宇佐2001RC)  
藤林鋭司会員 (宮崎西RC)